

<平成29年5月>

三鷹市議会議員 渥美 典尚



あつみのりひさNEWS



連絡先：〒181-0004 三鷹市新川4-24-7 あつみのりひさ と歩む会

電話：0422-48-6338 FAX：0422-48-6338

HP「あつみのりひさ」と検索！ atsuminorihisa@gmail.com

◆2月24日から3月28日まで、平成29年第1回定例会（3月議会）が開催されました。今回の議会では、平成29年度予算が予算審査特別委員会設置のもと審議されました。予算については別項に記載します。

また、三鷹市庁舎・議場の建設を新たに行う際の準備のために「三鷹市庁舎等建設基金条例」ができ、市庁舎・議場棟等を作る際のいわゆる「貯金」を始めることになりました。

詳細は、広報みたか、みたか議会だより、市議会ホームページなどをご覧ください。

【庁舎・議場棟等の建替えについて】

築50年以上が経過した今の市庁舎・議場棟をどうするべきかの研究がこれから議会が始まります。先の熊本地震では市庁舎が使用不可能な状況になり対応、対策に困難をきたした自治体が複数ありました。

大地震は首都圏にも近い将来、発生すると言われています。地震に強い市庁舎は必須であります。市庁舎・議場棟等の有り方の方針決定には数年、工事となればさらに数年の時間がかかります。新築や改築等いくつかの考え方が議論されると思いますが今のままの庁舎では安心できないことは確かです。バリアフリー対応やICT対応、省エネ対応などを考慮するとともに災害に強い庁舎をなるべく早く新設するべきではないかと考えます。

平成29年度三鷹市予算について

一般会計の歳入歳出予算額は、676億1,987万円で、前年度と比較して10億1,494万9千円（0.9%）の減となっています。18.5万人の市民で割ると、一人当たり365,513円となります。社会保障関連費が相変わらずの増、三鷹中央防災公園・元気創造プラザの完成により都市再生関連費は減となっています。

◆.....◆

◆H29年度一般会計予算の主な項目一覧◆
人口約18.5万人 一般会計予算約676億円

歳出の主な項目	円
民生費（福祉、保育、生保等）	350億6千万
土木費（道路、公園、開発等）	52億5千万
教育費（学校関連、図書館等）	76億3千万
総務費（役所運営、安全安心）	77億4千万
衛生費（ゴミ処理・健康等）	40億6千万
消防費（消防負担金・防災）	23億1千万
公債費（市債の返済）	40億5千万

歳入の主な項目	円
市税（市民税、固定資産税等）	372億9千万
交付金（国・都。使途指定なし）	45億6千万
国庫支出金（使途限定）	109億1千万
都支出金（使途限定）	81億7千万
繰入金（貯金の取り崩し）	16億2千万
市債（建設費等の借入れ）	13億3千万
使用料等（手数料、保育料等）	19億5千万

平成29年第1回定例会にて

市政に関する一般質問をしました。

◆三鷹市議会3月議会にて、市政に関する一般質問を行いました。これで渥美典尚の一般質問回数は連続計40回となりました。

三鷹市内における民泊について

民泊とは簡単に言えば、普通のアパート・マンションの部屋や、戸建て住宅、居住している自宅の一室等を貸し出し宿泊させるものです。比較的安価に泊まれることから世界中で需要が高まっており、民泊を仲介する大手のサイトが日本にも上陸しています。

それらサイトによりますと三鷹市内にも20軒以上の民泊が確認できます。安価に泊まれることから、長期間の滞在もしやすく、宿泊に伴う観光や飲食、購買の需要増により、地域経済にも寄与し、またホテル不足解消にも有効だと期待されています。

一方で、近隣トラブルや無許可営業等の負の側面も表面化してきています。

今回の質問の答弁では、市内での民泊トラブルの相談はまだ無いとのことでした。

しかしながら、三鷹市内の民泊には許可を得たものは皆無であることがわかりました。現在のところ、民泊の運営には保健所（都道府県）からの許可が必要となっています。市内の民泊の全てが無許可であるというのは驚きでしたし、看過はできません。今後、東京都との連携を深めて違法運営の民泊を取り締まり、正しい民泊運営を求めていくことが望まれます。

現在検討中の民泊新法が施行されると、より容易に民泊営業ができるようになります。その時に備えて、事前の準備や独自の規制などを考慮すると共に、地域経済活性化策として活かすよう提言もさせていただきました。

『ふるさと納税』について考えよう。

ここ最近ブームとなり、高率・高額の返礼品が課題にもなっている「ふるさと納税」。

名前こそ「納税」ですが、実際は「寄付」とう位置づけです。寄付控除があり、返礼品までもらえるとあって、三鷹市民がする「ふるさと納税額」も増加しています。

三鷹市民が他自治体に寄付して控除すると、その金額は三鷹市の税収から消えていくこととなります。その金額は平成29年度では、「約3億5千万円」にもものぼります。

これは、高山小学校の児童数増により校庭に建てた校舎の建設費用とほぼ同額ですし、大沢総合グラウンド夜間照明設備設置費用とも同等額、また今年度の私立認可保育園開設支援費用のほぼ半額程度に匹敵します。

他自治体への寄付は否定しません。しかし返礼品目当てではなく、純粋に応援したいという思いであるのが本来の寄付ではないでしょうか。生まれ育った故郷へ。知人が暮らすまちへ。訪れて好きになったまちへ。もちろん、今お住まいのまちへの寄付もできます。

◆.....◆

4月からゴミの出し方が少し変わりました。「汚れたプラスチックは燃えるゴミ」になりました。カレーなどのレトルト食品の袋、汚れがついた弁当容器、マヨネーズや歯磨粉のチューブ等です。三鷹が使用するクリーンプラザふじみの焼却炉は最新式ですからプラスチックを燃やしてもダイオキシン等の有害物質は発生しません。ご安心の上、正しいゴミ出しにご理解とご協力をお願いいたします。



手作り、簡易印刷の活動報告です。印刷の品質はご容赦ください。